

青山の場所

進路指導主事 石原俊明

「人間到る所に青山（せいざん）有り」という言葉があります。辞書には「世の中は広く、死んで骨を埋める場所ぐらどこにでもあるのだから、大望を成し遂げるためにならどこにでも行って、大いに活躍するべきであるということ」とあります。青山は樹木の青々と茂っている山という意味もあれば死んで骨を埋める場所という意味もあります。最近の企業訪問の中である人事の方がおっしゃっていました。

「転職を繰り返してうちの企業を受験する人が幾人かいますが、履歴書を見ると高校卒業後に就職した最初の企業が一番良かった場合が多いです」と。現在の高校3年生を対象にした求人を「新規学卒求人」と言います。企業も1からしっかり育てて行きたいという意思をもって研修から時間とエネルギーをかけて実力をつける環境を用意して下さいます。高卒後の「一般求人」は経験・資格が優先され、倍率も高く、半数が契約社員の求人です。「今」こそが「青山」を見いだす大切な時期ですので生徒の皆様は情報収集に努め悔いのない進路決定をしてください。

就職

企業訪問情報公開と求められる人物像

進路指導部では、指導部、3学年団を中心に企業訪問を行っています。訪問した時に得た情報は、全て資料として各クラスに配布し、進路室の廊下でも閲覧できるようにしています。

今回は、企業が求める人材をいくつか具体的に紹介したいと思います。

〈キャノン電子株式会社〉

元気で明るい生徒。欠席がある生徒は厳しい。3年間で5日以上欠席がある生徒は極めて厳しい。欠席がある生徒は、企業としては「何らかの問題を抱えている」と解釈する。立ち仕事が多いので体力がある生徒。運動部が望ましい。職場は規則が厳しい世界である。現場で周囲とコミュニケーションが良好にとれ、人間関係をうまく築くことができる生徒。

〈アイチコーポレーション〉

製造業の中でも離職率が低い職場環境である。4月5月は閑散期でゆったりとしている。7、8、9月と12、1、2月が忙しい。体力は重要であるが、2～3年すると慣れて無駄なところに力を入れる必要がなくなり、楽になる。慣れないと余計なところに力が入り疲れるが慣れると仕事もスムーズにこなせるようになる。元気がよく、体力と根気がある子。

〈パナソニックエコソリューションズ〉

積極性のある人。大人しい生徒はダメ。体育会系が良い。失敗を恐れずにチャレンジしていく人。失敗をすれば人は必ず何かを学び、「次」につなぐことができる。与えられた仕事をこなすだけの人はだめ。なんでも挑戦し困難にくじけない人。本を読み、自分の意見を自分の言葉で周囲や上司にきちんと伝えられる人。

〈ミツバ（株）〉

基本的に学校枠で推薦されたものはほぼ採用する。つまり利根商に2名の枠で求人を出し、2名受験した場合、基本的に採用する。採用試験時に勤務地希望は確認するが、利根沼田地区在中の生徒が他地区を希望すると合格率は相当落ちる。女子は大歓迎で是非入社してほしい。女子は検査系の仕事が多い。入社後に何年か製造を経験したあとに事務系を希望した場合、事務系に行くこともある。ただ工場より事務所の方が寒い。体力、精神力ともに優れている生徒。

〈大同特殊鋼（株）〉

受験する生徒は大同特殊鋼のDVDを必ず見ること（進路室石原机上に有り）。試験では面接重視。グループになって共同作業（ゲーム）を行う。積極性、元気の良さが大事。評定平均3.7以上が受験条件。多少条件に足りなくても出席状況や部活動等の頑張りがある生徒は考慮する。精神力・体力ともに優れた人。人柄が良く、コミュニケーション能力に優れた人。

〈テクノF&C〉

欠席がない生徒。ライン作業なので欠席がないことが大事。元気な生徒が良い。多少「ヤンチャ」でも元気があって、周囲と大きな声でコミュニケーションが取れることが大事。製造現場では情報を大きな声で伝える状況がある。

〈藤森工業（株）〉

精神力・体力ともに「抜群」の生徒。

〈東和銀行〉

女性に対して大変「優しい」優遇環境が整っている。60まで働けるのは勿論、仮に途中退社してもパートで60歳まで働ける制度がある。他のパートの仕事よりも賃金ははるかに高い。高卒で銀行に入る生徒は、「覚悟」があり、企業としては評価している。銀行には一般職と総合職があるが、高卒でも是非「営業」を中心とした総合職を目指してほしい。一般職よりも総合職の方が給与が高い。基本的に銀行の仕事は「一般事務」ではなく「完全営業職」だと思ってほしい。高卒でも短大卒や大卒に負けない力を養えばチャンスは大いに与えるので大活躍の可能性がある。優秀でコミュニケーション能力の高い「度胸のある女性」。バイクや車で企業で出かけて「融資」の仕事を手に入れることができる「セールスレディ」を目指せる人。

〈利根郡信用金庫〉

明るく元気が良く、優秀な生徒。簿記等の商業の検定をたくさん持っていた方がよい。日商2級を持っていると大変良い。利根商の卒業生は優秀で活躍している。

進 学 入試制度について

大学・短大・専門学校の入学方法には様々なものがあります。下記の3通りを参考にしてください。

① A〇入試・自己推薦入試

入試時期が比較的早いです。自分で自分を推薦する入試です。出願校を専願（他の学校は受験も入学もしない）とし入学後も意欲的に学ぶことを確約することが条件です。募集人数は倍率、難易度は学校によって異なります。オープンキャンパスや学校説明会への参加が必須条件となります。メリットは早い時期に合格の確約に近い約束を手に入れることができることと公募推薦や一般入試では難度や倍率の高いところへも入学できる確率が高いということです。

② 指定校推薦入試

大学・短大・専門学校が利根商業高校の生徒を「指定」してくる入試制度です。看護系を除いて、この入試制度で不合格となった生徒は本校においてはいません。どの学校が本校を指定してくるかの本年度の資料は7月上旬に各クラスに掲示します。昨年度のものは各クラスに閲覧できるよう配布してあり、進路室廊下に掲示してあります。この制度は例えば「法政大学 キャリアデザイン学部4.0以上 1名」とあった場合は学業成績5段階評定（生徒本人には告知済）が4.0以上であることが条件になります。そして1名枠のところ複数希望者が出てきた場合は「学内選考会議」において1名に選抜いたします。受験すればほぼ間違いなく合格しますが、受験条件（各学校によって様々）を満たすことと複数希望者が出てきた場合は会議において選抜されることが条件になります。8月中の学内選考会議で決定します。

③ 公募制推薦入試

大学・短大・専門学校から提示された推薦条件を満たし、かつ本校の学内選考会議を通過した場合に受験できます。推薦条件や難易度は学校によって異なります。推薦条件の一例として「学業成績 評定平均 3.5以上 欠席5日以内」とあった場合、その条件を満たすことが第一条件となります。試験は10月から12月に行われます。

④ 一般入試

学科試験を受けて入学する試験です。試験は1月～3月に行われます。大学入試センターの試験も含め、難度の高い試験です。この試験に向けての進学補習も行いますので希望者は積極的に受講してください。

<見聞録コーナー> 育英短期大学 保育学科 和太鼓部

昨年度卒業生M・Sさんが来校した。指定校推薦で入学し、授業が充実している。学校の就職率がいい。M・Sさんが入った和太鼓部は就職に一番有利で、次に有利なのがフラダンス部。育英短期大学のA〇入試は厳しく、ピアノがしっかり弾けるか聞かれたり、自分で「なにか作って持って行く」等の努力をしたりした受験生もいた。知り合いはカレンダーを作って持って行った。